報告（１）　リチウムイオン電池及び廃食用油の回収実績について

１．背景と目的

【リチウムイオン電池】

リチウムイオン電池等に起因する火災等事故が全国で増加しており、火災等事故を防ぐため、家庭より排出されるリチウムイオン電池等の回収場所を増やすこととしました。

【廃食用油】

刈谷市一般廃棄物処理基本計画で「有機性廃棄物の資源化」を掲げ、廃食用油リサイクルのさらなる推進を検討し、家庭より排出される廃食用油を回収し、新たな資源として再利用することとしました。

２．事業概要

【共通】

・回収開始日　令和８年５月１日

・回収場所　　東刈谷・富士松・小垣江・北部市民センター、刈谷市清掃センターの窓口及び刈谷市資源回収所

【リチウムイオン電池】

・回収対象　　モバイルバッテリー、電気シェーバー、ハンディファン、加熱式たばこ、ワイヤレスイヤホン、電動歯ブラシなどのリチウムイオンバッテリー内蔵充電式小型家電製品　など

・回収方法　　充電を使い切り、端子部分をセロハンテープなどで絶縁し、回収場所の職員に手渡し

・処理方法　市が選定するリサイクル業者へ売却



【廃食用油】

・回収対象　　サラダ油、米油、ごま油、オリーブ油、菜種油などの植物性の油

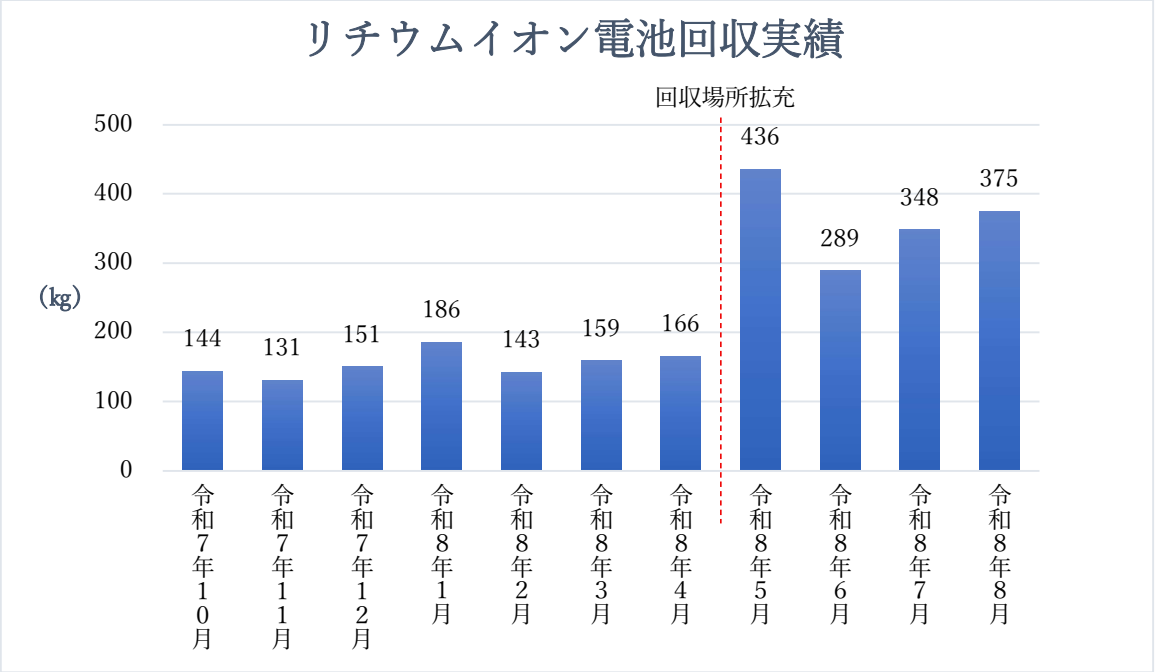
・回収方法　　家庭で使用済みとなった油をペットボトルに移し替えたうえで、回収場所に持ち込み

・処理方法　　市が選定するリサイクル業者へ売却し、バイオディーゼル燃料にリサイクル



３．実績

【リチウムイオン電池】



●回収場所を増やしてから、リチウムイオン電池の回収が約 235％増加（月平均）しました。

●リチウムイオン電池の希少金属は電子部品の材料に、プラスチックは固形燃料に再資源化されます。

【廃食用油】

●８月末時点で 255L を収集しました。

●廃食用油から精製された、バイオ燃料を混合した軽油を、不燃物埋立場のフォークリフトに活用します。